

ボランティアは

「美・少・女」

「こんにちは。芥ちゃん元気？」はちきれそうな歯切れのいい声が聞こえてきます。学生服に身を包み、白いカバンを肩に掛け、学校帰りの女の子。芥川さんのお友達は、田上ちゃんこと「田上 美穂さん」川中三年生の美少女。

二人の出逢いは、川中生の奉仕作業でした。それ以来、田上ちゃんは芥川さんの所へ遊びに来ては、楽しいお喋りやおセロの相手をしたり、最近では食事介助も手伝って頂いています。二人はお互いに言いたい放題、ジョークも飛ばし、芥川さんも彼女と会っていると、心のリフレッシュが出来ると思っています。照れ屋の田上ちゃん。心では思いやがりがあるても口では、つい「きつい事を言ってしまう田上ちゃん。そんな貴女の心を芥川さんは、ちゃあんと見抜いています。おこづかいを節約して買ってくれたプレゼント。忘れません、本当に有難う。田上ちゃん、貴女は、大切な思春期のページを誰にも負けない、美しい友情の色に染める事でしょう。」



入所者 石川裕子の母より

母親

雑感

娘が三恵ホームにお世話になってから、一年と三ヶ月が過ぎました。職員の皆様が親切で、ホームの雰囲気明るくて気軽に行き易いものですから、私はちよくちよくお邪魔して、散歩等親子の触れ合いを楽しんでいます。職員のチームワークで、入所者一人一人の医療と生活の画面を、責任もった指導を下さっているの、家族にとっては本当に安心です。娘は出産時の後遺症で障害を持つ身になってしまいました。が、仲々親がしてやれる事には限界がありません。このホームで寮母さんをはじめ職員の皆様に見守られて楽しく生活している様子を見て、心からホッとしております。

ある日、国道側の天神橋を二人で散歩しながら、お母さんが病気で入院したら、どうする？と聞いたら、ええよ、三恵でおったら家に帰りたいとは思わんからと答が返ってきました。もしかしてこれは、三恵の皆様の手を借りての娘の巣立ちかもしれないと、私はその時の会話を嬉しく咬

みしめています。

でも、まだまだ病気にはなりたくありません。今からも元気でちよくちよくお邪魔して親子で川内の自然を楽しみたいと思っています。

三恵ホームの職員の皆さん、入所者の皆さん、どうかよろしく御願います。

行事予定



- |    |                        |                  |                |
|----|------------------------|------------------|----------------|
| 1月 | 新開<br>春大会<br>囲碁<br>★憩い | オセロ<br>大会<br>★憩い | ・将棋<br>★鏡開き    |
| 2月 | 豆まき<br>ラオケ<br>★憩い      | 園会<br>★憩い        | カ<br>杯<br>★憩い  |
| 3月 | ひな<br>学買<br>★憩い        | 祭部<br>★憩い        | 見一<br>会<br>★憩い |